

レトロなまちなみを体感できるイベント (洲本市)

活用資源	まちなみ、町家、農産物、海産物
取組主体	城下町洲本再生委員会

概要

- ・映画館「洲本オリオン」を中心とした南北約 100m に伸びる路地は「レトロこみち」と呼ばれ、洲本城の城下町として栄え、現在でも古民家や細い路地など、どこかなつかしい風情あるまちなみが残る地域です。
- ・高齢化が進んで空き家も増えるなか、「自分たちの住むまちを何とかしたい」と思う住民が集まり、ボランティア団体「城下町洲本再生委員会」を結成しました。目的は、若者がまちなかで過ごせる場所や仕事づくり、まちへの居住者の呼び戻しです。
- ・レトロな雰囲気が残るまちの空き家を活かして1回イベントをやってみようと、淡路島の食材を使ったグルメや手作り雑貨などのお店を誘致して、まち歩きを楽しんでもらう「城下町洲本レトロなまち歩き」を開催しました。今では年2回開催し、地域内外より、子どもから年配の方まで1万人以上が訪れるイベントになっています。
- ・このイベントをきっかけに観光客が増え、まち歩き・淡路島グルメ・おしゃれ雑貨で賑わう路地になっています。現在「レトロこみち」で展開している26店舗のうち、23以上の出店者が地域の空き家を活用してお店を開業させており、「レトロこみち」だけでなく近隣商店街においても、地域全体の日常的な賑わいづくりが広がっています。

ポイント

ココが
コツ!

- ・活用する空き家を見つけるにあたり、所有者の理解が得られず、一般的に苦労することが多いと言われます。城下町洲本再生委員会では、子育て支援や高齢者の見守り活動をするなど、地域との信頼関係を築いている地元出身の会長がいることで、所有者から空き家の使用に同意を得られやすくなっています。
- ・イベント2週間前に震度5の地震があり、この地域も被害を受けたことがありました。しかし、急なアクシデントでも、普段から地域との関係を大切にしながら取り組んできたことで、それを見て応援してくれるようになった地域住民やボランティアの方から落ちた瓦の片づけや屋根へのブルーシートかけなどの協力が得られ、開催にこぎつけることができました。
- ・当初は助成金を中心とした運営でしたが、継続した取組により、協力・応援してくれる人が増え、最近では寄付金や協賛金で賄える部分も多くなりました。

費用
は?



イベントの様子

この事例をもっと知りたい場合

城下町洲本再生委員会



TEL 090-5167-6988 (野口)

HP <http://sumoto-retro.blogspot.com/>

SNS  城下町洲本レトロなまち歩き